

岐阜県原爆被爆者の会(岐朋会)
会長 木戸季市 様

お祝いのメッセージ

この度の日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)のノーベル平和賞受賞に際し、岐阜県内で核兵器廃絶に向けた活動に取り組む「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会」として、日本被団協の地方組織として岐阜県で一緒に活動される岐朋会の皆様にお祝い申し上げます。

今回の受賞は、1956年の結成以来、「二度と被爆者をつくるな」の願いのもと、身をもって世界に被爆体験を伝え、核兵器廃絶を希求して国内外で活動してこられた被爆者の皆様の弛まぬ努力が認められたものであると同時に、近年において戦争や武力衝突が続き、対立と分断が進む中で再び核兵器使用の危機が日々高まる世界への警鐘でもあると受け止めます。

私たち「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会」は、前身の「ヒバクシャ国際署名を進める岐阜県民の会」の活動を引き継ぐ形で、2020年に結成して以降、核兵器の無い安心して暮らせる世界の実現を求めて、会員相互で連帯して平和活動を進めてきました。その団体会員として岐朋会にも参加いただいております。「被爆の証言」を記録する取り組みを進め、また全国と連動して「すべての国に核兵器禁止条約の批准を求める署名運動」にも取り組んできました。一緒に行動して交流する中で、被爆者の皆様からたくさん貴重な知見と勇気をいただいています。

今回の受賞はともに活動する私たちにとっても大きな喜びであり、これを機に核兵器廃絶運動の機運がますます高まることへの期待と、これからも「被爆者の願いを継承する岐阜県民の会」の仲間として、一緒に平和の取り組みを進めていただくことをお願いして、お祝いのメッセージをお贈り致します。

2024年10月15日

被爆者の願いを継承する岐阜県民の会

代表世話人

安藤 征治

古川 秀昭

加田 弘子

根崎 周一